

校長室より⑦

『Together with everyone (みんなで一つに)』 第51回譲葉祭 (10/2)



今年度もコロナ禍で広く村民の皆様には公開できませんでしたが、村長様はじめ教育関係者と保護者の皆様には、生徒の楽しく活躍する場を見ていただくことができました。(村民の皆様にはケーブルテレビでの放映をご覧ください) 実行委員の企画や運営のもとで、12名の生徒全員と職員も一緒になって楽しく思い出に残る1日となりました。

【生徒の感想より】

(前略)… 事前学習の発表では少し緊張して、かんでしまったり、早口になってしまいました。
…(略) ミニ運動会では先生方も入りガチンコ勝負でやりました。特に僕は綱引きが楽しかったです。歌は緊張して声あまり出ませんでした。頑張って歌うことができました。合奏は最初の入りの難しい所、一定のリズムを打つ所ができたので良かったです。

【学校長挨拶より】

(前略)…さて、今年は1年遅れの東京2020オリンピック・パラリンピックが行われました。コロナ禍の中、特別な大会となりましたが、選手の皆さんからたくさんの感動をもらいました。そして、ハンガープロジェクトでハンガーを受け取っていただいた選手の皆さんの活躍もありました。

オリンピックで活躍した選手の競技後のインタビューの言葉からは、選手を支えてくれたチームや大会組織委員会・ボランティアスタッフへの『感謝』という言葉が多く聞かれました。

このような中で、天龍中学校半世紀を数える第51回目の譲葉祭も、コロナ禍での制限はありますが、新しい学びに向かってできることに『感謝』しながらのイベントになると思います。

今年度のテーマは『Together with everyone ～みんなで一つに～』。学校重点目標の「ひとつになれる」ともむすびついていきます。実行委員会では、みんなで一つになれる企画を考えてれています。生徒の皆さん一人一人は、みんなで一つになるにはどうしたらよいのか、ひとりひとり自分なりに考えてそれぞれの活動に取り組むことが「ひとりになれる」ために大切ですね。そして、今日は生徒の皆さんの最高のアウトプットの場です。「これを、ここをみて感じてほしい」という強い思いを持って、「見ている人に自分が伝えたいことが伝わる様にするにはどうすればよいか」という問いを持って 思いっきり表現してください。

最後には令和3年度生徒会テーマ「一期一笑 (いちごいちえ)」に『感謝』の気持ちで迫っていければ最高の譲葉祭になることでしょう。…(後略)

2学年宿泊学習（諏訪方面） 10/14・15



【製糸産業の学習】



【オルゴール製作】



【諏訪大社】



【サイクリングで釜口水門】



【諏訪湖の花火】



【車山からの絶景】

コロナ禍で延期となっていた2学年の宿泊学習は、10月14・15日の1泊2日で諏訪方面へ行ってきました。1日目は、岡谷蚕糸博物館で地域で盛んだった製糸業の学習、オルゴール記念館すわのねで大きなオルゴールの見学とオルゴール製作、諏訪大社（下社）、北澤美術館、諏訪湖一周サイクリングで宿舍「すわ湖苑」に入りました。その日は夕方6時より15分ほどの花火が上がり湖畔で眺めました。翌日は諏訪大社（上社）を見学し、車山高原の散策でした。その日の天気は雲一つない快晴で、車山山頂からは360度さえぎるものがなく、富士山をはじめ、遠くの間々まで見渡すことができ、まさに絶景でした。生徒にとっても、学びが多く、思い出に残る2日間となったと思います。

第2回三校（遠山・どんぐり向方・天龍）交流会 10/28



今回の三校交流会では、ミニ運動会と合唱交流を行って来ました。遠山中生徒会の企画で、「〇×クイズ」「借り物競走」「玉入れ」「大縄跳び」のミニ運動会で交流しました。借り物競走ではだいぶ苦勞している生徒もいました。「人に助けを求めることができる力」が試されました。互いによい刺激を受けることができる交流活動により生徒はまた一つ大きな学びを獲得できたと思います。